

こうかい ひこうかい べつ  
公開・非公開の別

■公開 □部分公開  
ひこうかい  
□非公開

## 第6回浜松市外国人市民共生審議会会議録

- 開催日時 令和3年10月19日(火) 午前10時00分から午前11時30分まで
- 開催場所 オンライン会議システム ZOOM
- 出席状況  
委員 シム キュマン (韓国)  
妹尾 圭持 (知識経験者)  
孫 玉傑 (中国)  
丹野 清人 (学識経験者)  
バンバン ハリアント (インドネシア)  
ファム トウイ フォン (ベトナム)  
事務局 国際課 課長 鈴木 三男  
国際課 課長補佐 松井 由和  
国際課 主幹 古橋 広樹  
国際課 影山 侑里奈
- 傍聴者 0人 (一般: 0人、記者: 0人)
- 議事内容 (1) 中間とりまとめの修正・確認  
(2) 事務連絡
- 会議録作成者 国際課 影山 侑里奈
- 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有  無

## 8 会議記録

### (1) 開会・挨拶

《国際課長挨拶》

### (2) 中間とりまとめの修正・確認

《事務局：資料に基づき外国人の老後に関する事項について説明》

#### (バンバン委員)

・社会保障制度の説明資料は、言葉だけではなく絵やグラフを使って、分かりやすくした方がよい。

・40代や50代ごろになり、ようやく社会保障制度に加入しておけばよかったと気付く人はいらると思う。若いうちから社会保障制度の重要性を伝えるのが大事である。年齢や在留資格によって情報の伝え方を工夫するのが良い。

#### (孫委員)

・高齢者だけでなく、障がいを持つ人や家族の中に障がいを持つ人がいる家庭に向けても情報が行き届くと良いと思う。社会保障制度の情報が必要なのは高齢者に限ったことではないと思う。

#### (シム委員)

・老後に向けて備えることができる人もいるが、生活が苦しくて備えることができない人もいる。それは外国人であっても日本人であっても同じことだと思う。国籍に関わらず、困っている人に対して必要なサポートが等しく受けられると良いと思う。

#### (丹野委員長)

・中間とりまとめの中に、外国人相談窓口に寄せられた課題に対してより具体的に対応するような表現にした方が良い。

《事務局：資料に基づき、外国人の青少年のキャリア支援に関する事項について説明》

#### (シム委員)

・通訳者がいれば日本語ができない外国人市民でも相談ができるが、通訳者を頼って日本語を勉強しなくなってしまう。その結果、長期間日本に住んでいても日本語ができないままになり、悪循環に繋がる。市や支援団体はどこまで外国人をサポートするべきなのか。また、どのように役割分担するべきなのか難しい。

#### (孫委員)

・進学に関する情報が十分にあっても、保護者の経済状況によっては十分な学習支援ができず、進学させられない場合もある。学習支援を受けられないと勉強へのモチベーションが低下してしまう可能性がある。市が実施している学習支援は、母子家庭や市民税非課税世帯が

対象であり条件が厳しい。

#### (フォン委員)

・日本人の保護者が皆知っているようなことも、外国人の保護者は知らない場合もあるため、何も知らないことを想定して進路指導をしてほしい。また、面談の時間が短いため、質問したいことがあっても質問する時間がない。早い段階から進路指導をしてほしい。

#### (丹野委員長)

・子どもを大学に入学させるためには入学金や授業料などの多くのお金がかかる。また、自宅から通学できない大学に通わせる場合は下宿にかかる家賃や生活費も必要になる。子どもを大学に通わせようと考える保護者は、早い段階からお金を準備しなければいけない。専門学校の場合は、一般的に大学よりも多くのお金がかかる傾向がある。

#### (バンバン委員)

・保護者が子どもの進学に向けてお金を準備しておくのも大切であるし、子どもが勉強に対してモチベーションを持ち続けるのも大事である。

#### (丹野委員長)

・子どもが勉強に対してモチベーションを持ち続けられるような日本社会であると良いと思う。勉強することが今後のキャリアに繋がるということを子どもたちに理解してもらえると良い。  
・在留資格によっては、学校を卒業後に正社員にならないと在留が認められない場合もある。ドロップアウトを防ぐためには、学校卒業後のキャリアに関してもメッセージを伝える必要がある。

#### (妹尾委員)

・メッセージを伝えるタイミングも重要であると思う。当事者というよりも、学校や周囲の人々がそのことを理解し、必要なサポートを行うのが大切であると思う。

#### (丹野委員長)

・浜松市国際課は市役所の関連部署と連携して、外国人市民に関するこうした課題に取り組んでいって欲しい。

## 9 事務局からの連絡事項

## 10 閉会